

## 日本情報倫理協会（JANL）運営委員会 第3回 議事録（案）

日時：2023年4月27日（木）18:30-20:15

場所：オンライン（Zoom）

参加者：福島、中西、水野（敬称略）

### 報告と議題：

#### 1) 前回議事録の確認

#### 2) 改訂後の会則について（確認）

- ・「総会」の必要性について検討する
- ・総会は現状においては、特段にはなくても良いと思われる。
- ・「運営委員会」の開催について検討する。定期的かどうか等。
- ・メールでの持ち回り審議については、新規入会の可否を、申込があった段階で随時審議可能とする。
- ・メールも可能ということ自体は規定通りである。
- ・従ってZoomなど電子的開催での審議も可能（対面の規定はない。オンライン時代に常識的に可能）。
- ・以上より、現状では会則（規定）の改訂は必要ないと思われる。

#### 3) 2023年度の活動（案）

##### 3-1) 会員の新規募集について（報告と議論）

- ・現状13名(Unique)+新規16名 = 29名（2023年4月現在）
- ・会員の新規募集をもう1回、行う予定である。（参照：今回3月に募集活動を行った前例）

##### 3-2) 運営委員の依頼について（報告と議論）

- ・運営委員4名を推薦し承認。現状の運営委員2名と監事1名は、今後は委員6名と監事1名となる。

新規運営委員4名：（五十音順。敬称略）

阿部 一晴  
斎藤 俊則  
高橋美由紀  
芳賀 高洋

##### 3-3A) 会のホームページの継続可能性について（報告と議論）

- ・例としてjimdo <https://www.jimdo.com/jp/> での有料契約も可能性がある。
- ・現状のJANLサイトも、現状では継続可能である。他方で、移行も可能な状態である。
- ・JANLのサイト維持に負担をかけている現状がある。コンテンツの見直しは必要（今後の課題）。

##### 3-3B) 会のメーリングリストの継続可能性（報告と議論）

- ・Google Groupsに移行することも可能である。現状ではJANLドメインも継続可能（移行も可能）。
- ・JANLドメイン管理者に「2023年度は現状で継続。2024年度からML移行を考える」と打診する(案)。
- ・ML移行には作業期間と移行期間が必要である。今後はその時期的目安と段取り調整が必要(検討)。

##### 3-4) 会費について（報告）

- ・2023年度の会費について、そろそろ大々的に呼び掛けを開始する。5月から～

### 3-5) 会計（報告）

- ・りそな銀行に口座あり。2022年度にはお金の動きがなかった。（要確認）

### 3-6) オンラインセミナー（実施方法の確認）

- ・今後日程調整して、新規会員に依頼する方向で調整を開始する。5月、6月、...（案）

### 3-7) その他の活動（提案と議論）

- ・当面、オンラインセミナーを継続する方針で考える。
- ・対面のシンポジウムについては、対面で話したい機運が出てきたら再考する（案）。

自由討議の記録（メモ）：以下のような議論と意見交換があった。

- ・オンラインセミナー担当者がネタの紹介を行う。
- ・大学院生による「おまけコーナー」。例：「あらびき団」というのがある（お笑い系）
- ・大学院生の発表も可能とする（会員の推薦があれば）。
- ・情報倫理の内容では大学院生は難しいかもしれない。しかし、そうでもないかもしれない。
- ・指導している院生に発表の機会を提供する。例：Lightening talkのような可能性もあって良い。
- ・例えば情報処理学会でも「ランラントーク」というのがあった（院生として発表経験あり）。
- ・工学系では院生は多いが、法学系では少ない。規模が小さいからこそやれることの例である。
- ・セミナー担当者は次の発表者の自薦他薦も可能に（気楽に話題提供をお願いできる可能性）

## 4) その他

＊) 江澤義典氏（前会長）：名誉会員に推挙の提案について

- ・会則第13条に則り運営委員会で決める。
- ・その方向で推挙を行う。目安として「1年に一人」程度とする（他氏の推挙は今後検討する）。

＊) その他、複数の参考ホームページ（サイト案）の紹介があった。

以上